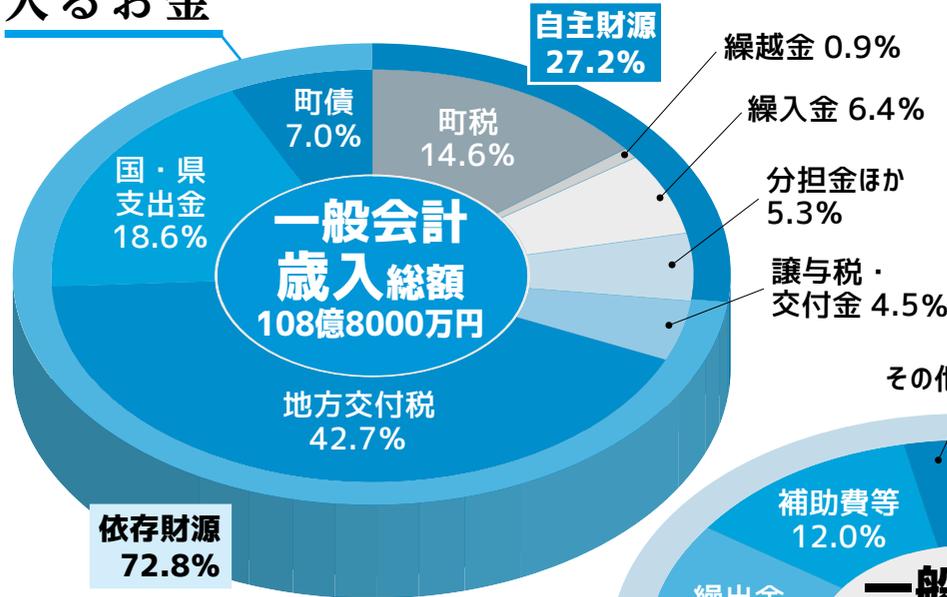


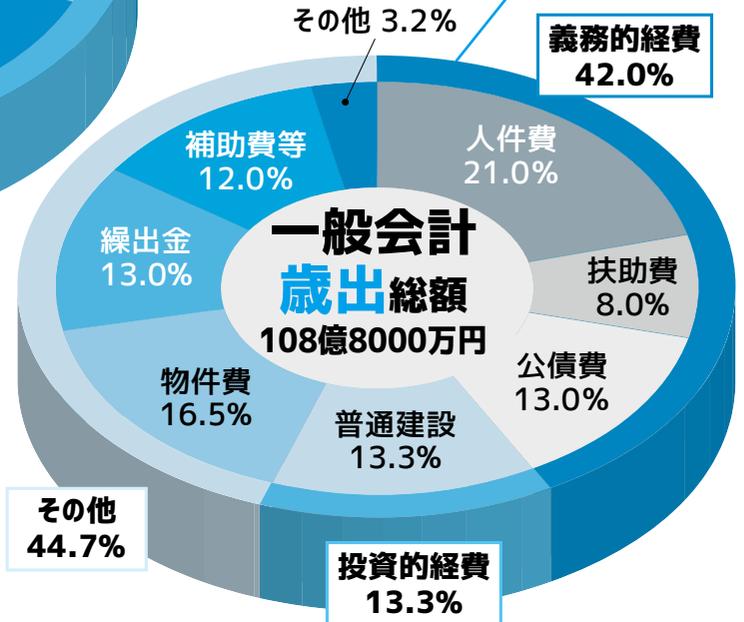
入るお金



※自主財源=町がみずから集める収入
 ※依存財源=国や県から受け入れる収入



使いみち



※義務的経費=法律や国の指示で、必ず支出しなければならない費用
 ※投資的経費=道路や建物など、固定的なものをつくる費用



町長の施政方針

自立して発展するまちへ

普通交付税の合併算定替えの措置がなくなり、会計年度任用職員制度が始まるなど、大きな転換点を迎えることになる。大山町が自立して発展していくよう引き続き努めていく。この方針で令和2年度当初予算の編成に臨んだ。

1 人口減少対策

まちの強みや魅力をいかした人口減少対策を進める。大山町に住んでよかつたと思えるまちづくりを力強く前に進める。

2 交流人口の増加

交流人口の増加に向けた取り組みを進める。大山の自然、歴史、文化、食などの魅力を引き続き磨き上げ、国内外旅行者の満足度向上に努めていく。

3 持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりと住みやすさの向上をめざし、第5次行財政改革に沿った改革を推進する。

4 安心・安全なまちづくり

地域力の向上による防災、教育、福祉の充実に取り組む。大山町高齢者福祉計画、大山町障害者計画を策定し、だれもが安心して住みながら町で暮らすことができるように取り組む。

5 情報発信の強化

広報・情報発信の強化とICT・AIを活用した事業の効率化に取り組む。必要な情報にすばやくたどりつける環境づくりをめざす。



竹口大紀 町長